



教師の仕事＝「見取りと評価」
「評価」について
～OPPAとは？～

令和8年6月
川中子登志雄

そもそも「評価」とは？

目的の異なる二つの「評価」 “Evaluation” と “Assessment”

成績付け？

格付け？

価値付け？

査定？

ランク付け？

(参考) 他国の教育システムでの「学力評価」



フィンランド

- 主に形成的評価を重視。テスト以外にも面接や観察を通して。
- 自己評価を重視し、自分で目標を設定し努力する姿勢を育てる。



アメリカ

- 州によって異なるが、多様な評価方法を用いている。
- 標準化テストにより全国的な基準での評価を実施。



イギリス

- 日常の授業や課題の形成的評価。
- GCSEやAレベルという全国统一試験を実施し客観的に評価。

(参考) 他国の教育システムでの「学力評価」



韓国

- 学期ごとに行われる定期試験による評価。
- 大学入試のため、全国統一の修学能力試験で評価を実施。



フランス

- 日常の授業や課題による形成的評価を重視。
- バカロレアという全国統一試験を実施。大学入学のための評価。



シンガポール

- PSLE 小学校卒業時に実施。中学進学に重要な評価。
- Oレベル（中学卒業時）、Aレベル（高校卒業時）進学・就職に。

評価の種類（やり方）

相対評価（集団に準拠した評価）

・ある集団の中で、生徒にどのような能力や適性があるかをみる

メリット） 生徒が他の生徒に比べて自分にどのような能力や適性があるかを知ることができる。

デメリット） 過度の競争意識を生み出しやすく、個人の努力が必ずしも報われるとは限らない。

絶対評価（目標に準拠した評価）

・指導目標が生徒にどれだけ実現したかを表す評価

メリット） 一人一人の学習状況が明確になり、生徒の自己実現を図るための評価、指導者が自らの指導を振り返る評価になる。

デメリット） 明確な評価基準の設定が必要になる。

（平成10年度指導要領改訂により移行）

評価の種類

1) 教育活動の中で**教師が行う評価**

- ・**診断的評価** 既習の内容がどれくらい身に付いているか確認するために行う（クラス分けのためのレディネステストなど）
- ・**形成的評価** 学習の途中で行う価値付け・アドバイス等（声かけ、コメントを書く、など）
- ・**総括的評価** 一定期間に行われた学習についての観点別評価（A,B,Cや「よくできる」など）と評定（5, 4, 3, 2, 1など）
→ いわゆる「通知表」の評価のこと



評価の種類

2) 認知能力・非認知能力を高める評価

「パフォーマンス評価」

学習における表現活動や表現物などのパフォーマンスをもとに評価すること。選択回答式の問題以外による評価。現実の文脈における学習成果の確認ができる。



「ポートフォリオ評価」

児童・生徒の学習の過程や成果などの記録や作品を計画的にファイル等に集積。そのファイル等を活用して児童・生徒の学習状況を把握するとともに、児童・生徒や保護者等に対し、その成長の過程や到達点、今後の課題等を示す。

評価の種類

3) 学習者自身が行う評価

自己評価

- 評価することを学習活動そのものとして位置づけ、学習者自身のメタ認知能力を高めていく役割を持つものとして、生徒自身が進んで行うべきもの。

「メタ認知能力」とは？

自分の認知を認知する力。自分がどう考えているか、感じているかや、自分の記憶や判断について、「もう一人の自分」として俯瞰的・客観的に捉える力。

相互評価

- 生徒全てが知識等を身に付けたとしても、それに至るまでに同じ考え方、同じ理解の仕方をしていないので、学習過程におけるこの違いを明確にして、生徒の学習の深まりを求めるもの。
- 自分も相手も良くなろうという相互作用的なアドバイスが可能となる。

そもそも「評価」とは？

令和の日本型学校教育に求められる「評価」とは

①何のために？

②どのように？

行われるべきか？ （グループ討議）

そもそも「評価」とは？

これまでの学校で行ってきた評価 Evaluation

目標に準拠した評価ではあるが、「みんなが等しく、同じことができるようになる」ことを前提とした集団内の序列付けになりやすい
(→ 人と比べる)



これからの学校で行うべき評価 Assessment

「個々の子供の良さや頑張りを見取り、伸ばす」ための教師（と学習者本人）による価値付け・フィードバック（→ 生徒自身の変容・成長を見る）

これからの「評価」は、子供の非認知能力を高めるものでなければならない

子どもの良さを伸ばす評価の方法

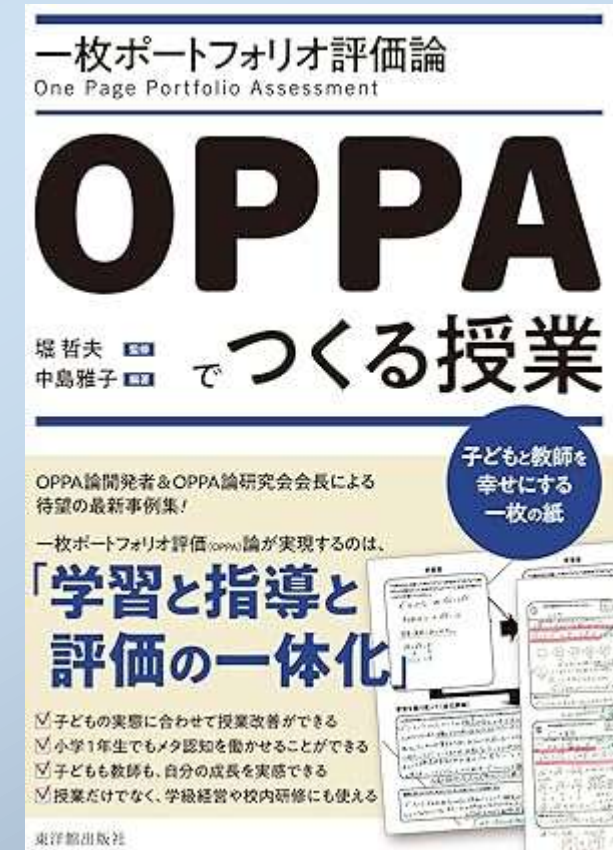
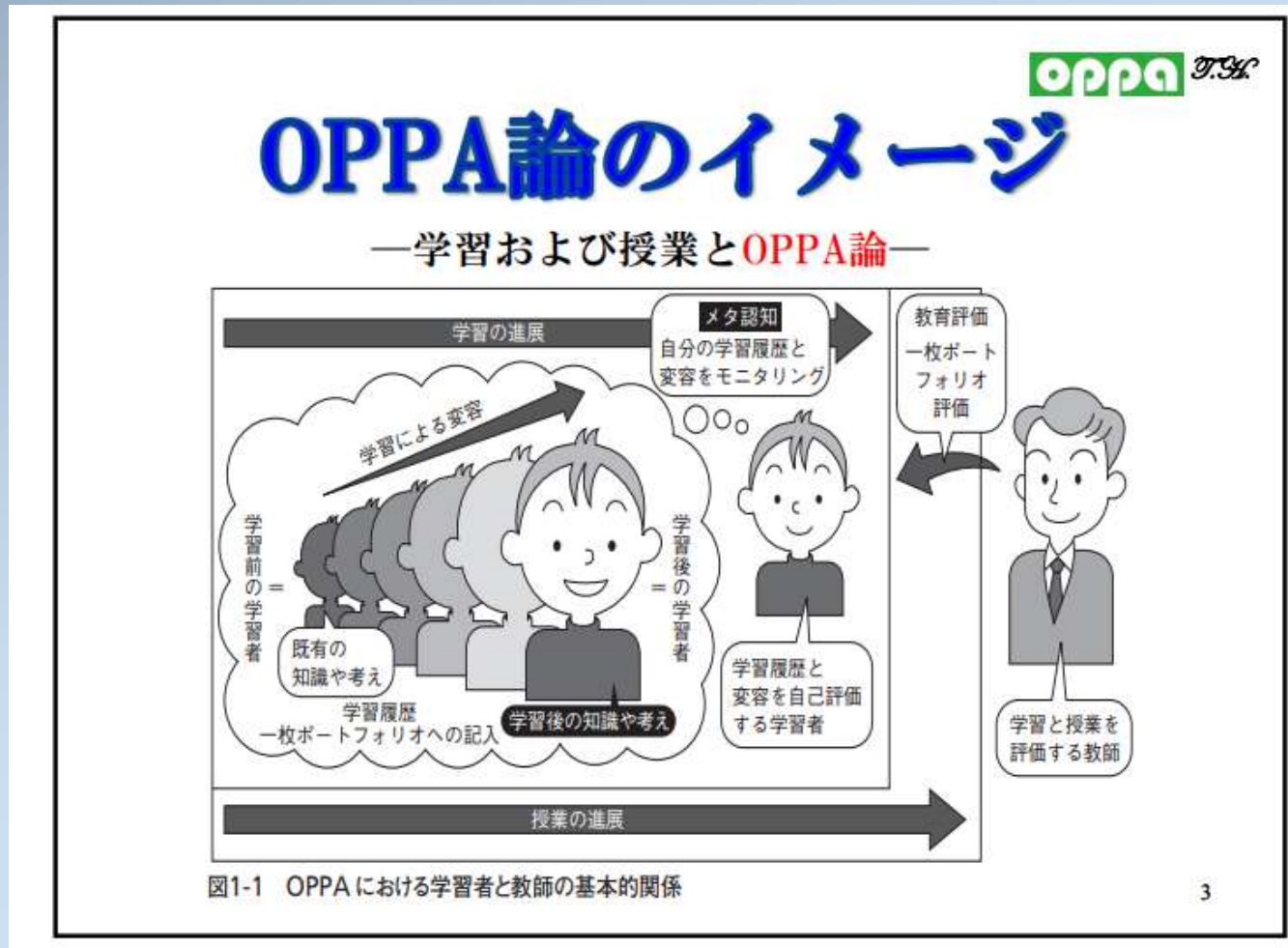
OPPA (One Page Portfolio Assessment)

一枚ポートフォリオ評価

- ・元・山梨大学人間科学部 堀哲夫名誉教授が考案
- ・1枚の用紙に収まるポートフォリオ情報で、
「学習者の何にどう働きかけたら変わったか？」という
変容に対する必須の情報を得て、学習者と教師が
活用して成長の糧とする。(子供も教師も成長する！)
- ・OPPシートは「(前後の)本質的な問い」「学習履歴」
「学習後の自己評価」で構成される。



子どもの良さを伸ばす評価の方法



OPPAでは、次のような効果が期待できます

- ★子どもの認知構造が明らかになる。
 - ・子どもの変容を適切に見取ることができる。
- ★子どもの資質・能力を育成できる。
- ★子どものメタ認知を育成できる。
 - ・子ども自身が自分の成長を実感できる。
- ★子どもの学ぶ意欲が高まる。
- ★教師が子どもの学びを見取り、指導に生かせる。
- ★教師の授業改善につながる。

OPPシート (縦)

OPPシート

年 組 1 氏名

① 学習前

本質的な問い

日付	今日の授業で一番重要だと思ったこと、一番大切だと思ったことを書きましょう。	疑問点や感想など何でもよいので自由に書いてください。
① 月 日		
② 月 日		
③ 月 日		
④ 月 日		
⑤ 月 日		
⑥ 月 日		
⑦ 月 日		

学習履歴

「今日の学習で一番大切だと思ったことを書きましょう」

② 学習後

本質的な問い



学習前・中・後を振り返ってみて、何がわかりましたか？ また、授業の勉強を通してあなたはどのように変わりましたか？ そのことについてあなたはどのように思いますか？ 感想でもかまいませんので自由に書いてください。

自己評価

「学習の前と後で変わったことは何か？」

OPPシート (横)

本質的な問い

【学習前】

<図などを用いる場合は、この欄は大きくしてご使用ください>

【学習をふり返って前と後で何か変わったか】

学習全体をふり返ったり、学習前と学習後の自分の考えを比べたりして、思ったり考えたりしたことを書きましょう。

学習後の自己評価

月 日 () No. 1	月 日 () No. 2	月 日 () No. 3
<p><タイトルをつけよう></p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p>	<p><タイトルをつけよう></p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p>	<p><タイトルをつけよう></p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p>
思ったこと、考えたこと		
月 日 () No. 4	月 日 () No. 5	月 日 () No. 6
<p><タイトルをつけよう></p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p>	<p><タイトルをつけよう></p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p>	<p><タイトルをつけよう></p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p>
思ったこと、考えたこと	思ったこと、考えたこと	思ったこと、考えたこと

学習履歴

「今日の学習で一番大切だと思ったことを書きましょう」

OPPシート

【学習後】

<図などを用いる場合は、この欄は大きくしてご使用ください>

本質的な問い

保護者から一言

OPPシート

<タイトルをつけよう>

年 組 番

名前 ()

自己評価
「学習の前と後で変わったことは何か？」

OPPAのポイント

- これまでの「ふりかえりシート」とは異なる。

→授業の「感想」ではなく、自己の学び（何を学んだか）を振り返り、自分の言葉で表現する。

- **学習者自身が、自己の成長を俯瞰することが可能になる。**（メタ認知）

- **教師のコメントはそのまま形成的評価になる。**

→コメントづけは一回15分程度で行うのがよい。

- **教師自身が、自己の指導が適切であったかを振り返り、修正することができる。**

- **総括的評価（点数化、ランク付け）には使わない。**

定期考査について (Optional Topic)

- 定期テストは「何のために」行っているのか？
- 我々の作成している定期テストは、本当に「学力」を測定できているのか？
そもそも「学力」とは？
- 主体性（非認知能力）の育成、学力の向上のために必要な評価方法は？

【世田谷区立桜丘中学校の実践】

- 朝学習の時間を週3回使った各教科10点×10回 or 20点×5回の小テスト（積み重ねテスト）
- 敗者復活のチャレンジテスト
（同様の内容のテスト。良い方の点を採用）
- 業者テスト（1, 2年年3回、3年年7回）
→この結果は通知表の成績とは別

【生徒の声】

- ・ 单元ごとに勉強ができるので点数がとりやすくなった。定期テストに比べて出題範囲が狭いとはいえ、勉強するとなると時間はかかる。勉強時間は前より伸びた。
- ・ テストは簡単だけど、毎週3回あるから、勉強量が多すぎる。再テストを入れると週6回。言ってみれば週6テストをしているわけだから大変。